

# 若手のための経営錬成塾

新規開催 2019年4月～2020年3月

主催 一般社団法人 経営研究所

## 【テーマ】

将来の経営を担う 20～30代若手ビジネスパーソンを対象にした、経営全体と経営のベーシックを学ぶための3つ\*のコンテンツを集約化し、経営の王道とプラクシスを学ぶ講座である。座学に加え、“アクションラーニングと討議”を重視する。

### \*3つのコンテンツ\*

①経営全体を見る ②戦略的思考 ③計数・財務的思考

【開催期間】 2019年4月～2020年3月（原則第4火曜日開催）全11回

<b>第1フェーズ：経営全体を見る</b> ～生きた経営の歴史を通じて、これからの経営と経営人材のあり方を問う～	
講師：橋川 武郎（東京理科大学大学院経営学研究科教授） 内野 崇（学習院大学経済学部教授／株式会社関電工取締役）	2019年4月～6月 計3回
<b>第2フェーズ：経戦略とビジネスモデル～戦略的思考を問う～</b>	
講師：佐々木圭吾（東京理科大学大学院経営学研究科教授） 平井 孝志（筑波大学大学院ビジネスサイエンス系教授）	2019年7月～11月 計4回
<b>第3フェーズ：会計とファイナンス～計数・財務的思考を問う</b>	
講師：若杉 敬明 （ミシガン大学ロス・ビジネススクール ミツイライフ金融研究センター理事） 加藤 篤士道 （公益財団法人日本生産性本部主席経営コンサルタント）	2019年12月 ～2020年3月 計4回

## 【時間】

各回 18:30～20:30

## 【募集定員】

20社

## 【年会費】

1社 3名様まで 300,000円(通期)

## 第1フェーズ:

# 経営全体をみる ～未来の経営とこれからの経営人材のあり方を問う～

### \*ねらい\*

第一の柱として、経営全体を見る目を鍛える—経営の歴史をたどることと、真の経営人材のあり方を通じて複雑に絡むヒト、モノ、カネ、戦略、技術、情報そして理念の総体を問い、企業経営の本質と真の経営人材のあり方に迫る。

### \*講師\*

橋川 武郎



東京大学大学院経済学研究科単位取得退学。経済学博士。青山学院大学経営学部助教授、東京大学社会科学研究所教授、一橋大学大学院商学研究科教授を経て、平成27年より東京理科大学大学院経営学研究科教授(現職)。東京大学・一橋大学名誉教授。専門は日本経営史、エネルギー産業論。著書に、『日本電力業発展のダイナミズム』(名古屋大学出版会)、『松永安左エ門』(ミネルヴァ書房)、『出光佐三』(ミネルヴァ書房)、『電力改革』(講談社)、『日本のエネルギー問題』(NTT出版)など。総合資源エネルギー調査会委員などをつとめる。

### 内野 崇



東京大学大学院経済学研究科博士課程を経て、現在、学習院大学経済学部教授。国内企業を中心に数多くのコンサルティング、研修・教育に従事。日本生産性本部経営アカミー・トップマネジメントコース他のコーディネータ。学校法人学習院企画部長として学校改革に携わる。株式会社関電工取締役。著書に『変革のマネジメント』(生産性出版)、『企業文化・業績と強い関係』(共著論文、日本経済新聞)、『組織の経時的分析』(経済論集)、『戦略論と組織論の融合をめざして』(経済研究)『戦略型経営』(共訳、ダイヤモンド社)ほか多数。

### \*開催日程及び内容\*

第1回 : 4月23日(火)「企業経営の本質を語るⅠ ～歴史的考察～」 講師:橋川武郎

第2回 : 5月28日(火)「企業経営の本質を語るⅡ ～真の経営リーダーとは」  
講師:橋川武郎

第3回 : 6月25日(火)「企業経営の全体像を見に行く」 講師:内野 崇

\* 時間はすべて 18:30～20:30

## 第2フェーズ:

# 戦略とビジネスモデル ～戦略的思考錬成塾～

### \*ねらい\*

第二の柱は、これからの経営を考える上での必須の要件である、戦略的思考 一会社全体を見る目、中長期を見る目を養い、大所高所からの戦略的な思考一 の鍛錬である。

講師陣は、経営戦略論の社会人教育で我が国の第一人者である佐々木に加え、幅広いビジネス経験に基づき優れた知の論客である平井が加わり、理論とケースを織り交ぜながら、短期間で戦略論のベーシックの習得を目指す。

### \*講師\*

#### 佐々木圭吾



昭和61年九州大学経済学部経済工学科卒業、松下電器産業株式会社入社。平成4年一橋大学大学院商学研究科修士課程修了。平成8年同大学院同研究科博士課程単位取得満期退学、横浜市立大学商学部経営学科専任講師。平成9年同大学助教授。平成18年に、東京理科大学MOT専攻に助教授として就任、平成24年より教授に就任。著書に『経営理念とイノベーション』、『みんなの経営学』など。

#### 平井 孝志



筑波大学大学院ビジネスサイエンス系教授。東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。ペイン・アンド・カンパニー、ローランド・ベルガーにて、主に大企業の中期経営計画策定、新規事業開発などのコンサルティングに従事。デル及びスターバックスなどの事業会社にて、経営企画、マーケティング等の業務も経験。米国マサチューセッツ工科大学スローン経営大学院MBA。博士(学術)。慶応義塾大学ビジネススクール特別招聘教授、早稲田大学ビジネススクール客員教授も兼務。

### \*開催日程及び内容\*

第4回 : 7月23日(火)「経営戦略と経営ポートフォリオの全体像」 講師:佐々木圭吾

第5回 : 9月24日(火)「ビジネスモデルのイノベーションと変革」 講師:平井孝志

第6回 : 10月29日(火)「競争戦略について」 講師:内野 崇

第7回 : 11月26日(火)「企業戦略について考える」 講師:平井孝志

\* 時間はすべて 18:30~20:30

## 会計とファイナンス ～計数・財務的思考を問う～

### \*ねらい\*

第三の柱は、これからの経営を考える上で、最後の必須要件は経営を“計数”で見る一経営、戦略とリンクさせて、会計・財務を理解し把握できる能力を養うことである。財務諸表(BS、PL、CS)の見方から始まり、資本コストと資金調達、投資と、話題は広範にわたる。

講師陣は、我が国の経営財務論の第一人者であり、多数の企業の社外役員を歴任した若杉と、会計教育の第一人者たる加藤が担当する。短期間での会計・財務のベーシックの習得が可能である。

### \*講師\*

若杉 敬明



1966年東京大学経済学部卒業。横浜市立大学、東北大学、東京大学、東京経済大学を経て、現職はミシガン大学ロス・ビジネススクールミツイライフ金融研究センター理事。一般社団法人経営研究所理事、東京大学名誉教授 など。過去、リコー、日本水産の取締役、NTTドコモ、JFEホールディングスの監査役、証券取引審議会、郵政審議会、社会保障審議会等の政府委員、日本経営財務研究会会長等を歴任。

#### <専門>

企業金融(Corporate Finance)  
資本市場(Capital Market)  
資産運用(Investment)等のファイナンス(Finance)全般

#### <著書>

「新版 入門ファイナンス」「コーポレート・ガバナンス・マニュアル」  
「グッドガバナンス・グッドカンパニー」ほか多数。

加藤 篤士道



公益財団法人日本生産性本部 主席経営コンサルタント。早稲田大学 商学部卒業。1990年KPMGセンチュリー監査法人勤務、公認会計士資格を取得。1996年「日本生産性本部 経営コンサルタント養成講座」を修了後、本部経営コンサルタントとして、各種事業体の診断指導にあたる。

#### 【主なコンサルティング実績】

- ・サービス業(グループ再編の方向性・経営戦略策定・実行支援)
- ・食品製造業(経営戦略の策定・実行支援による業績改善、組織活性化)
- ・電気工事業(事業承継:後継者を主体とした組織マネジメント力の強化)
- ・金融業(得意先の問題解決力強化支援、提案営業力強化支援)
- ・温泉旅館(中長期経営改善計画策定・実行支援、銀行折衝)
- ・運輸業(M&Aのための財務・事業デューデリジェンスの実施)
- ・化学品卸売業(内部管理システム構築:部門別採算管理、資金管理、月次予算管理)
- ・建設業(解体業:物件別採算管理システム構築、中長期事業計画策定)
- ・不動産建築販売業(営業力強化、中期経営計画策定支援)

## \* 開催日程及び内容 \*

第8回 : 12月26日(木)「会計の基本ー財務3表とは何か」 講師:加藤篤士道

- ①財務3表とは
- ②B/Sの見方
- ③P/Lの見方

第9回 : 1月28日(火)「経営分析の基礎」 講師:加藤篤士道

- ①キャッシュフロー計算書の見方
- ②主要経営指標の意味と味方

第10回 : 2月25日(火)「ファイナンス入門」 講師:若杉敬明

- ①ファイナンスとは何か:コーポレート・ファイナンスとインベストメント
- ②ファイナンスの基本要素:時間とリスク
- ③ファイナンスの目的:株主価値創造

第11回 : 3月24日(火)「お金の価値」 講師:若杉敬明

- ①時間とお金の価値:貨幣の時間価値
- ②リスクとお金の価値:リスクプレミアム
- ③割引現在価値

\* 時間はすべて 18:30~20:30

# 経営研究所について

## 【経営研究所とは】

経営研究所は昭和21年に故高宮晋先生（東大、一橋大、上智大名誉教授）によって学者と企業が共同で近代経営のあり方を研究すべく設立された会員制の非営利団体です。当時は他に類似の機関がなかったために、「経営研究所」がそのまま固有名詞となり、今日に至っております。

1996年より故土屋守章（東京大学名誉教授）が、さらに2010年6月より寺本義也（早稲田大学大学院教授）が引き継ぎ、2013年9月まで丸の内地区を拠点に経営学及び関連学問の研究関心等、大学と企業の実務的課題を結びつける役割をはたしてまいりました。

創立以来60有余年、着実に発展の地歩を固め今日に至るわけではありますが、2013年10月をもって改めて21世紀にふさわしい研究所としての基盤整備に着手し、「一般社団法人経営研究所」として再スタート致しました。

『知と実践の交流の場として、また智の発信基地』としての役割を担うなかで得た成果を、広く企業の実務において活かしていただくとともに、産業界及び学会の発展に資することを狙いとしています。

## 【研究所運営の活動と特色】

～わが国を代表する産・官・学の各界の“知と人”を結集した『研究会』が活動のメイン！～

経営研究所は、経営の根幹にかかわるテーマごとに研究会を設け、各研究会の活動を経営研究所のコアにしています。各研究会にあっては、講義形式、セミナー形式をとらず、実務者、研究者等を中心に参加メンバーの知的格闘技を重視し、毎回、わが国を代表する多彩なゲストを招聘し、ゲストのプレゼンテーションにつづいて、参加者（ビジネスパーソンと研究者が中心）との間で、各回1時間ないし1時間半にわたって議論を重ねます。

単なる勉強の場にとどまることなく、その論議を通じて問題を深く掘り下げ、また参加者が相互に切磋琢磨するとともに、実務上、研究上の新しい着想と、知らぬ間に実践への指針を得ることをめざします。各研究会は、上記の研究会活動を通じて、それぞれに質の高い提言と討論がなされるのみならず、しっかりしたドキュメントを提供します。

## 【今までに経営研究所にご参加いただいた企業の一部】

アール・テー・ワイ、アサヒビール、味の素、味の素冷凍食品、アトレ、アパグループ、アレンジピース、イオン、イトーキ、インテリジェンス、内田洋行、ANAホールディングス、エーザイ、AGC、NECソリューションイノベータ、NTT、NTTコミュニケーションズ、NTT都市開発、大林組、オフィス中村、オリックス、カゴメ、カルソニックカンセイ、川崎汽船、関電工、共同フレイターズ、キリンホールディングス、栗田工業、クレディセゾン、グローバルマネジメント研究所、コベルコ・キャリア・ディベロップメント、コベルコ マテリアル銅管、コマツ、サトーホールディングス、シーズ・スリー、シーメンスヘルスケア、JXTGエネルギー、JXTGホールディングス、JFEホールディングス、J-オイルミルズ、JKホールディングス、資生堂、島津製作所、住友化学、ジヤトコ、昭和電工、住商アビーム自動車総合研究所、住友商事、積水化学工業、セブン銀行、全日空商事、全日本空輸、損害保険ジャパン日本興亜、SOMPOシステムズ、SOMPOホールディングス、大日本印刷、大日本住友製薬、高砂熱学工業、ディーバ、テクノバ、テルモ、電源開発、デンソー、電通、東急不動産ホールディングス、東急不動産、東京急行電鉄、東京建物、東京電力ホールディングス、東タイ、東武鉄道、トヨタ自動車、豊田自動織機、ニコン、日産自動車、日本アイ・ビー・エム、日本化薬、日本水産、日本生活協同組合連合会、日本生産性本部、日本電気、日本ヒューマップ、乃村工藝社、パイオニア、博報堂、パシフィックリプロサービス、ハッピーウイングス、パナソニック、ハナマルキ、ハリウッド大学院大学、東日本旅客鉄道、ビジネスプラットホーム革新協議会、ビジョン、日立キャピタル、日立金属、日立製作所、日野自動車、ヒューマンウエア・コンサルティング、ファンケル、フォスター電機、福井コンピュータホールディングス、不二越、不二製油グループ本社、富士電機、富士フィルム、物産ロジスティクスソリューションズ、ブレンセンター、ベネッセコーポレーション、ハウスイ、ホギメディカル、本田技研工業、本田技術研究所、マツダ、マブチモーター、丸紅、みずほ銀行、三井化学、三井住友銀行、三井住友建設、三井物産戦略研究所、三井ホーム、三菱化学、三菱ケミカルホールディングス、三菱ケミカルリサーチ、三菱地所、三菱商事、三菱総合研究所、三菱電機、宮川製作所、メック・ヒューマンリソース、メンテックカンザイ、ヤマトホールディングス、山梨トヨペット、ユニアデックス、LIXILグループ、リクルートマネジメントソリューションズ、リマインド、ルミネ、レンタルのニッケン 他多数（株式会社省略）

## 【参加申込について】

**年会費** 1社 300,000円（通期）

I期、II期、III期それぞれにご参加の場合は、各期120,000円となります。

**申込方法** 所定申込書に必要事項をご記入の上、EメールもしくはFAXでご送付下さい。

参加は会社単位で、1社3名の会員の登録ができます。

お申込み頂き次第、事務局より請求書をお送り致します。

**連絡先** 経営研究所 事務局

〒100-0005東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビルB1F

TEL 03-5220-2881 FAX 03-3217-0208 E-mail keieikenkyusho@keieik.or.jp

URL <http://www.keieik.or.jp>

### <会場案内図>



### <三菱ビルへの行き方>

- ・JR  
「東京駅」(丸の内南口)……………徒歩約3分  
京葉線「東京駅」10番出口より直結
- ・地下鉄  
千代田線「二重橋前駅」4番出口……………徒歩約2分  
丸ノ内線「東京駅」地下道経由……………徒歩約3分  
都営三田線「大手町駅」D1出口……………徒歩約4分  
東西線「大手町駅」B1出口……………徒歩約6分

## 2019年度 若手のための経営錬成塾 参加申込書

年 月 日

会社名:

住所：〒

ふりがな 登録者氏名	TEL
	E-mail
所属部署および役職名	
ふりがな 登録者氏名	TEL
	E-mail
所属部署および役職名	
ふりがな 登録者氏名	TEL
	E-mail
所属部署および役職名	



※1 請求書送付先は、こちらに丸印をつけて下さい。

※2 オールインワン制度でのご参加の場合は、右記に☑を入れてください。 ☐